

令和3年6月市議会定例会

活力都市創造部

議案説明資料

目 次

【予算案件】

- | | | |
|---|-------------------------|-----|
| 1 | 令和3年6月活力都市創造部補正予算（案）総括表 | 1 頁 |
| 2 | 富山港線フィーダーバス運行事業について | 2 頁 |
| 3 | アスベスト除去等支援事業について | 3 頁 |
| 4 | 中心市街地活性化推進事業について | 4 頁 |

【契約案件】

- | | | |
|-----|--------------------|-----|
| 5 | 工事請負契約締結の件 | |
| (1) | 富山駅北口駅前広場整備（その5）工事 | 5 頁 |

【報告案件】

- | | | |
|---|-----------------------|-----|
| 6 | 富山駅周辺整備事業費の事故繰越について | 6 頁 |
| 7 | 公共交通活性化推進事業費の事故繰越について | 7 頁 |

1 令和3年6月 活力都市創造部補正予算（案）総括表

【一般会計】

(単位：千円)

区分 予算科目(款・項)	補正前の額	今回補正額	補正後の額	備考
活力都市創造部 合計	3,813,592	36,156	3,849,748	
(款8)土木費	3,813,592	36,156	3,849,748	
(項5)都市計画費	3,813,592	36,156	3,849,748	建築物の安全安心推進事業費 5,000 中心市街地活性化事業費 8,000 生活交通対策事業費 23,156

【生活交通対策事業費】

2 富山港線フィーダーバス運行事業について

[交通政策課]

(1) 補正額 23,156千円

財源内訳	国庫補助金	13,156千円
	諸収入	10,000千円

(2) 補正の目的

新型コロナウイルス収束後の地域の移動を支えるため、富山港線フィーダーバス車両を高齢者等に優しく環境性能に優れた車両に更新するもの。

(3) 補正の内容

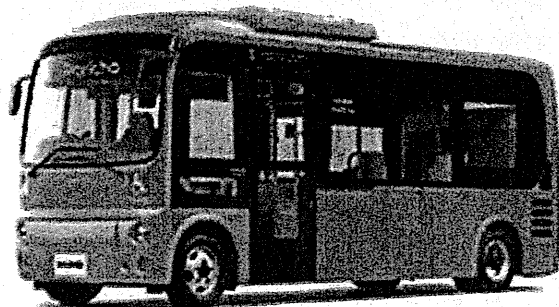
富山港線フィーダーバス購入費等 23,156千円

・購入車両の概要

車 両：小型低床車両

定 員：26名（運転手除く）

主な付属品：ドライブレコーダー、LED行先表示器等



購入車両イメージ

【建築物の安全安心推進事業費】

3 アスベスト除去等支援事業について

[建築指導課]

(1) 補正額 5,000千円

財源内訳	国庫補助金	2,500千円
	県補助金	1,250千円
	一般財源	1,250千円

(2) 補正の目的

国の追加内示があったことから、民間建築物の所有者等が実施する吹付けアスベストの除去等の工事に支援するもの。

(3) 補正の内容

建築材料として吹付けられたアスベストの除去等の工事について、その費用の一部を補助する。

- ・アスベスト除去等支援事業補助金 5,000千円
補助額：除去等工事費用の3分の2以内かつ最大2,000千円
2,000千円×2件=4,000千円
1,000千円×1件=1,000千円（小規模建築物を想定）

【中心市街地活性化事業費】

4 中心市街地活性化推進事業について

[中心市街地活性化推進課]

(1) 補正額 8,000千円

〔 財源内訳 一般財源 8,000千円 〕

(2) 補正の目的

第3期中心市街地活性化基本計画の計画期間が令和3年度末で終了することから、新たに第4期中心市街地活性化基本計画（計画期間：令和4年度から令和8年度まで）を策定するもの。

(3) 補正の内容

委託料 8,000千円

①基礎調査

第3期中心市街地活性化基本計画の取り組み成果の客観的検証
中心市街地の現況や住民ニーズ等の把握、分析
中心市街地活性化に向けた課題抽出

②第4期中心市街地活性化基本計画（案）の作成

基礎調査に基づく、第4期計画策定に向けた提案
第4期計画書（案）、第4期計画概要版（案）の作成

(4) 主なスケジュール

令和3年11月中旬	パブリックコメント実施
11月下旬	中心市街地活性化協議会への諮問
令和4年3月	第4期計画の認定

5 工事請負契約締結の件

(1) 富山駅北口駅前広場整備（その5）工事

[富山駅周辺地区整備課]

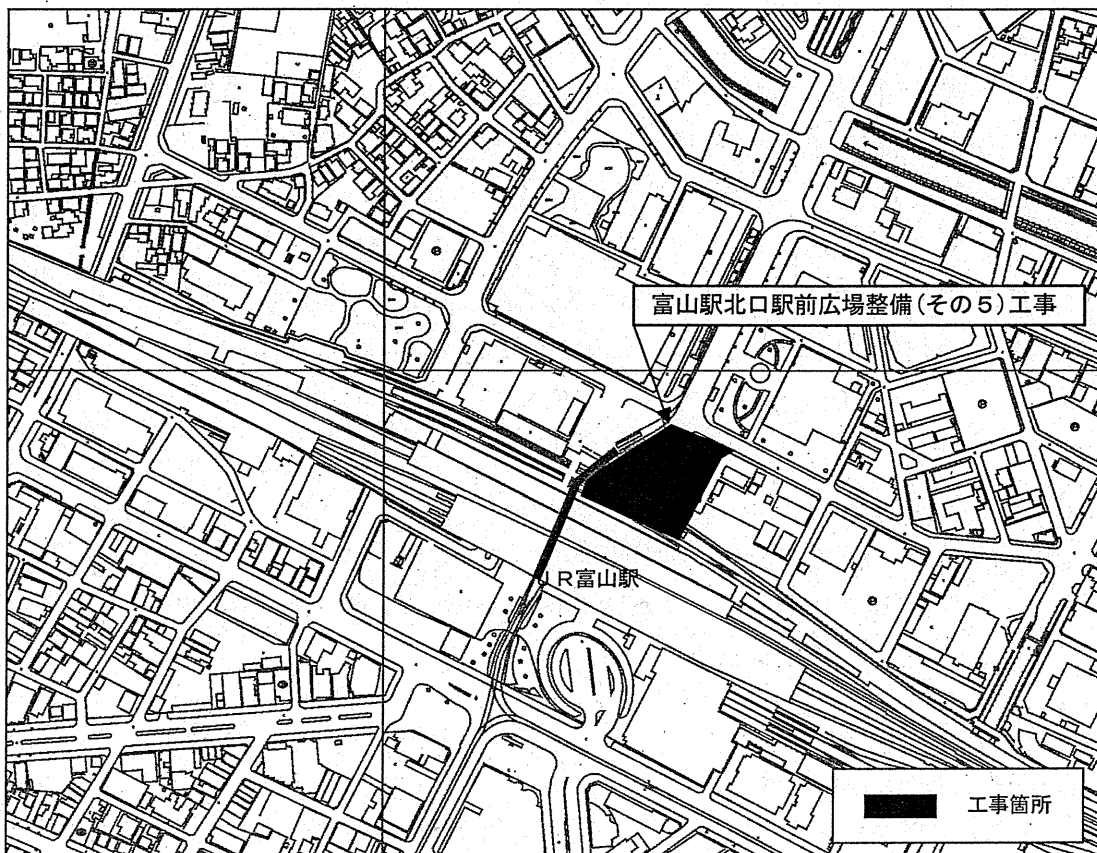
契約金額 525,800,000円

契約相手 日本海建興・角地建設・篠川組富山駅北口駅前広場整備（その5）
工事共同企業体

代表者 富山市牛島町24番6号
日本海建興株式会社
代表取締役 灰谷 久登

工事内容 舗装工、無散水消雪工、雨水排水設備工等

位置図



【富山駅周辺整備事業費】

6 富山駅周辺整備事業費の事故繰越について

[富山駅周辺地区整備課]

(1) 事故繰越の理由

富山駅付近連続立体交差事業の富山地方鉄道本線仮線設置工事における北陸新幹線構造物への影響について、事業主体である県がJR西日本と協議を行った結果、当初予定していた工法を変更する必要があることに加え、新型コロナウイルス感染症対策の影響により協議に不測の日数を要し、年度内の完了が困難になった。

このため、県の事業費が事故繰越となったことから、これに伴う市負担金の事故繰越を行うもの。

(2) 事故繰越額

95,851千円

(内 訳)

【単位：千円】

	R1→R2年度 繰越明許 予算額	R2年度 執行額	R2→R3年度 事故繰越額
① 県事業費	1,095,494	669,494	426,000
② ①のうち 市負担金分	246,802	150,951	95,851

【公共交通活性化推進事業費】

7 公共交通活性化推進事業費の事故繰越について

[交通政策課]

(1) 事故繰越の理由

あいの風とやま鉄道株が事業主体である新富山口駅設置事業において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、工事エリア内を運行する他の鉄道事業者との施工方法の協議・調整に不測の日数を要し、年度内の完了が困難となったことから、本事業に対する国及び県の補助金と同様に、市補助金の事故繰越を行うもの。

(2) 事故繰越額

34,100千円

(内 訳)

【単位：千円】

	R1→R2年度 繰越明許 予算額	R2年度 執行額	R2→R3年度 事故繰越額
① 富山市公共交通 活性化対策事業補 助金	101,100	84,050	17,050
② あいの風とやま 鉄道新駅設置(工 事)事業補助金	101,100	84,050	17,050
計	202,200	168,100	34,100